

■アスキークラウド 3月号 24-25 ページ(2013/1/24 発売)に当社記事が掲載されました。

特集 クラウドの法則⑤「平準化」 仕事は夜間、休日が効率的

【抜粋】

「インフラビジネスを回すにはいかにコンテンツを取り込むかが大事」と語るのはティーケーピー(TKP)の河野貴輝社長。事業の中核はウェブから貸会議室を予約できる「TKP 貸会議室ネット」だ。

貸会議室運営は、年間を通して見ると売り上げに波が生じやすい難しい事業だ。2月や4月、5月は新卒採用説明会や新入社員研修で埋まるが、企業が夏休みや冬休みにはいる8月、12月の稼働率がどうしても低くなる。会議室が使われなくても固定費はかかる。しかし、TKP は「平準化」で成長を続ける。全国に1100室以上ある貸会議室の「在庫」(インフラ)で埋める方法に取り組んだ。例えば、2013年2月に老舗弁当店の常盤軒から仕出し弁当部門を買収。貸し会議室の閑散期である年末にケータリング付きのパーティーやイベントの会場として貸し出したところ、12月の売上高が過去最高を記録した。変動を減らしてムダをなくす平準化こそ、TKPの成長の秘密なのだ。

次の鍵は自動平準化

【抜粋】

「早期予約は安くし、利用日が近づくにつれて値段を上げ、直前に値段を下げて空きを埋める。予約データを分析し、値段が変動するシステムを作りたい」(TKPの高木管理部長)